

☆☆☆
JRKU
☆☆☆
2023年 第917号
5月23日

JR九州ユニオン

福岡市博多区博多駅東2丁目13-21
GS/ハイム博多805号
TEL 092-415-4377 FAX4399
発行人 縫 和 彦
編集人 田 中 勇

当初予定通り「821系」新型車両を投入しよう！ 設備投資を行おう！！

この間情報で明らかにした通り、昨年の秋実施されたダイヤ改正以降、JR九州へのクレームが収まりません。各自治体や会社へのクレームは2000件を超え、マスコミにも不満が寄せられています。

具体的には、各自治体より

○2022年12月佐賀県内の自治体から

「長崎線の増便への要請」

○2023年2月鹿児島本線5市町から

「ダイヤ改正前に戻す要請」

○2023年3月福岡県議会から

「地域住民の利便性の確保ならびに利用者へのサービス向上」を要請

筑後市では独自のアンケートを取り組み、その中でダイヤ改正へ73%が「大変不満」を占め、要望に対しては「快速列車を増やして欲しい」が1番でした。

3月から七隈線も博多まで延伸され利用者も1.5倍となり、混雑率も140%となりJR九州と同じく、博多駅周辺の利用者の声は増便による利便性を求めています。両社とも増便するにも設備(車両)が無いことを理由としています。福岡市は通勤時間をずらすことを各企業へ呼びかけています。このまま放置すると福岡市や沿線自治体の経済まで影響が出てきます。

JR九州会社は3月決算で純利益311億円、2期連続の増益となりました。コロナ前へ戻りつつあります。サービス宣言にあるように「つねにお客さまの視点に立って行動」するならば、ダイヤ改正前のダイヤに戻すべきです。

設備についても、415系を活用出来ないのなら、当初計画していた通り、821系新型車両の設備投資を行うべきです。

***BPRの効率化のもと821系投入は当初2025年3月を2022年3月で切り上げた。**